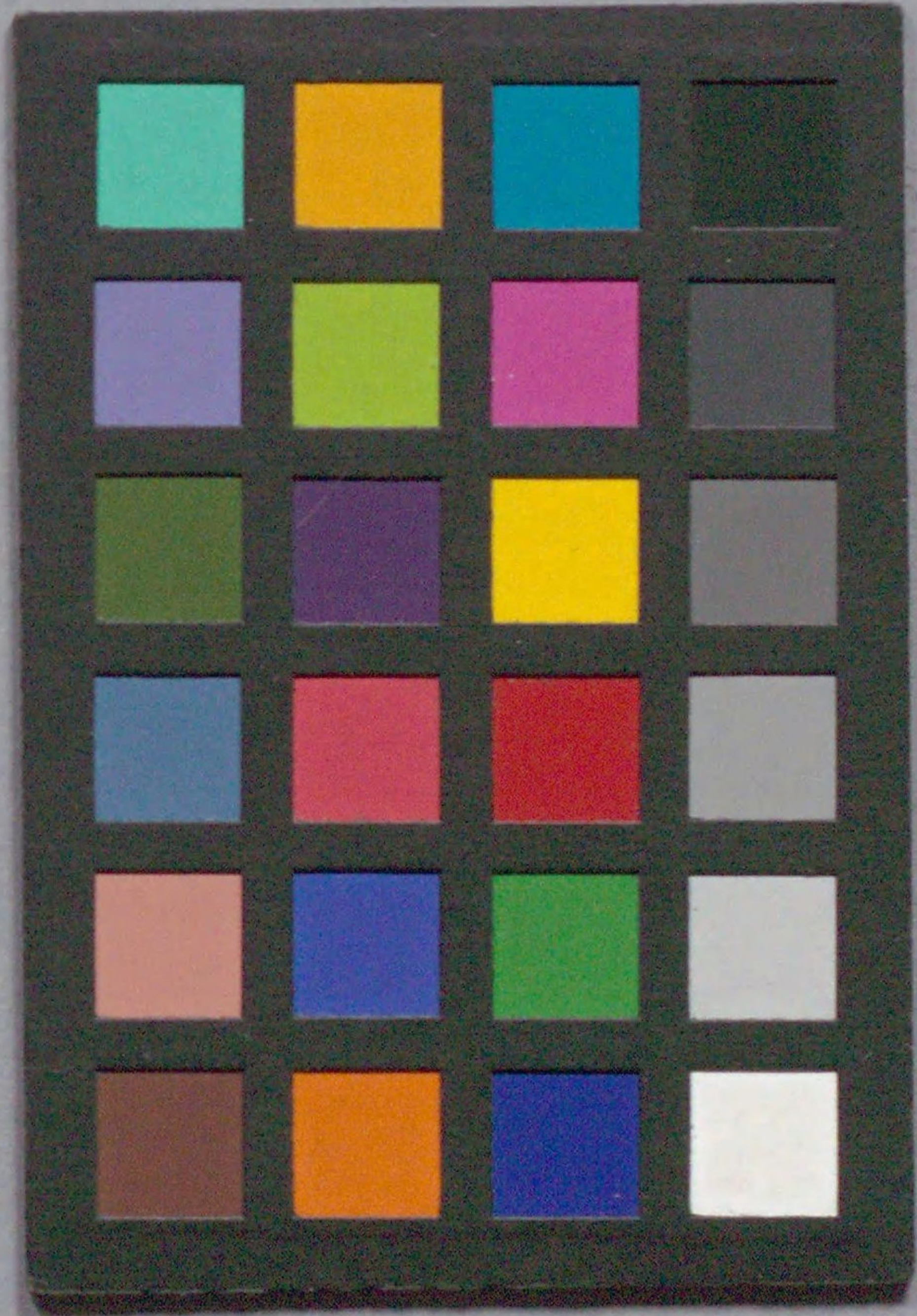
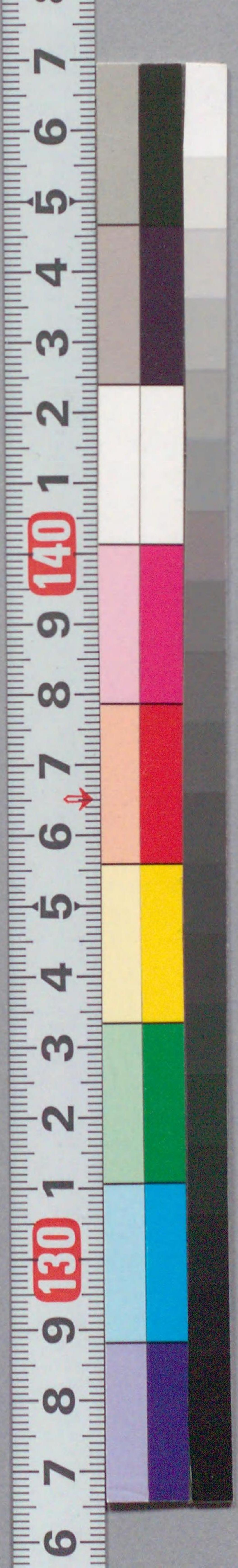


207
342

国立国会図書館 金銀先生造化夢 : 3巻 207-342



ガラス使用

金銀先生造花夢

京傳紙
重政画

全三冊

207
342

寛政五年

自叙

百下

李紳憫農詩曰鋤禾日當午汗滴禾下土誰知
盤中飧粒々皆辛苦宜哉盤中此飧と一膳

の米漬の飯と好米一粒布一寸とわ小とも

何ぞ讀し用入や其思須弥りも高一況衣食

畧財屋室人間一生日用の萬物と制衣一か

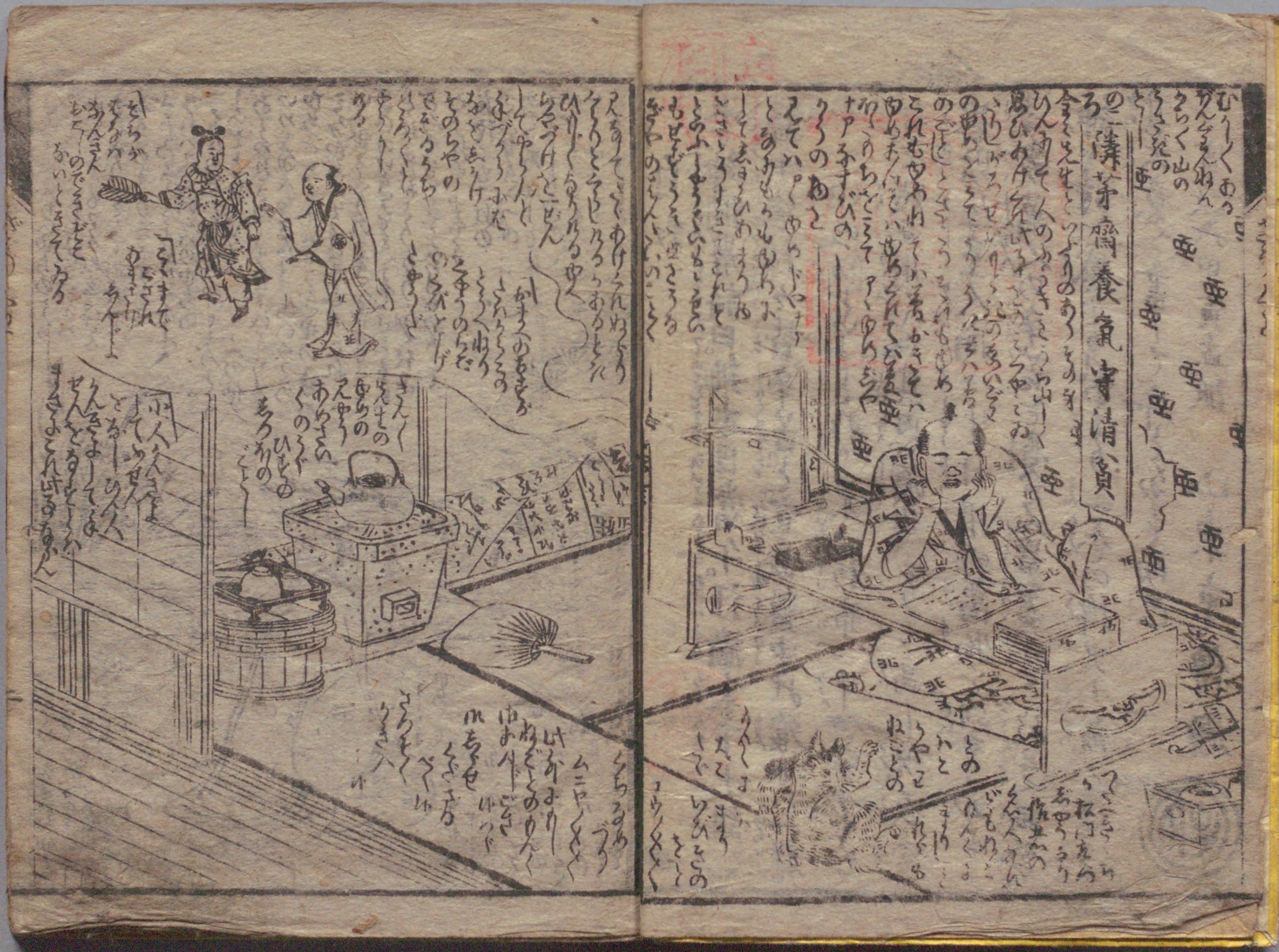
る。幾萬人の辛苦と負乃ん量を量を量を放是偶々

紳が詩と感ずりれわらり三卷の稗史小説と録

其大意と書して序と多く而己

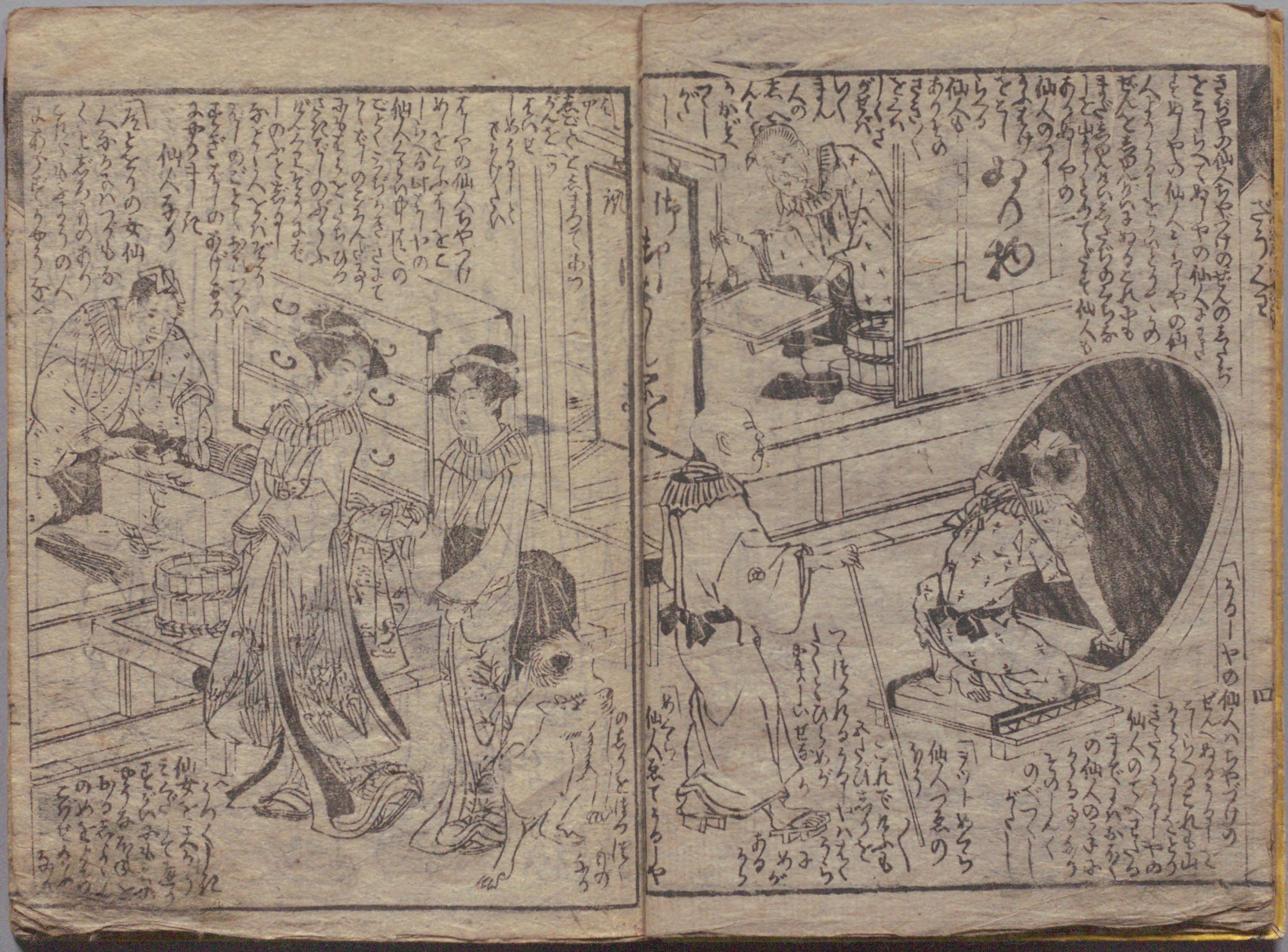
寛政六甲寅孟陬 山東京傳題

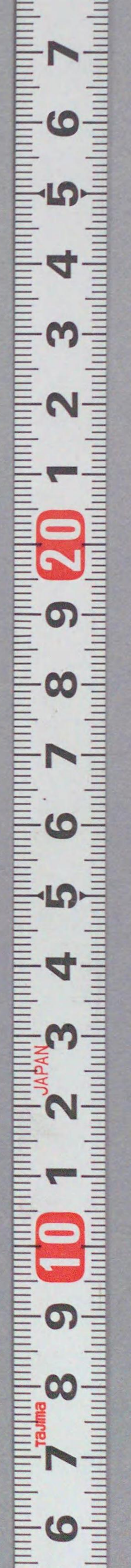














このところもこの世にあり
のこりもこの世にあり
のこりもこの世にあり
のこりもこの世にあり
のこりもこの世にあり
のこりもこの世にあり
のこりもこの世にあり
のこりもこの世にあり
のこりもこの世にあり
のこりもこの世にあり



仙人のあやかし
仙人のあやかし
仙人のあやかし
仙人のあやかし
仙人のあやかし
仙人のあやかし
仙人のあやかし
仙人のあやかし
仙人のあやかし
仙人のあやかし

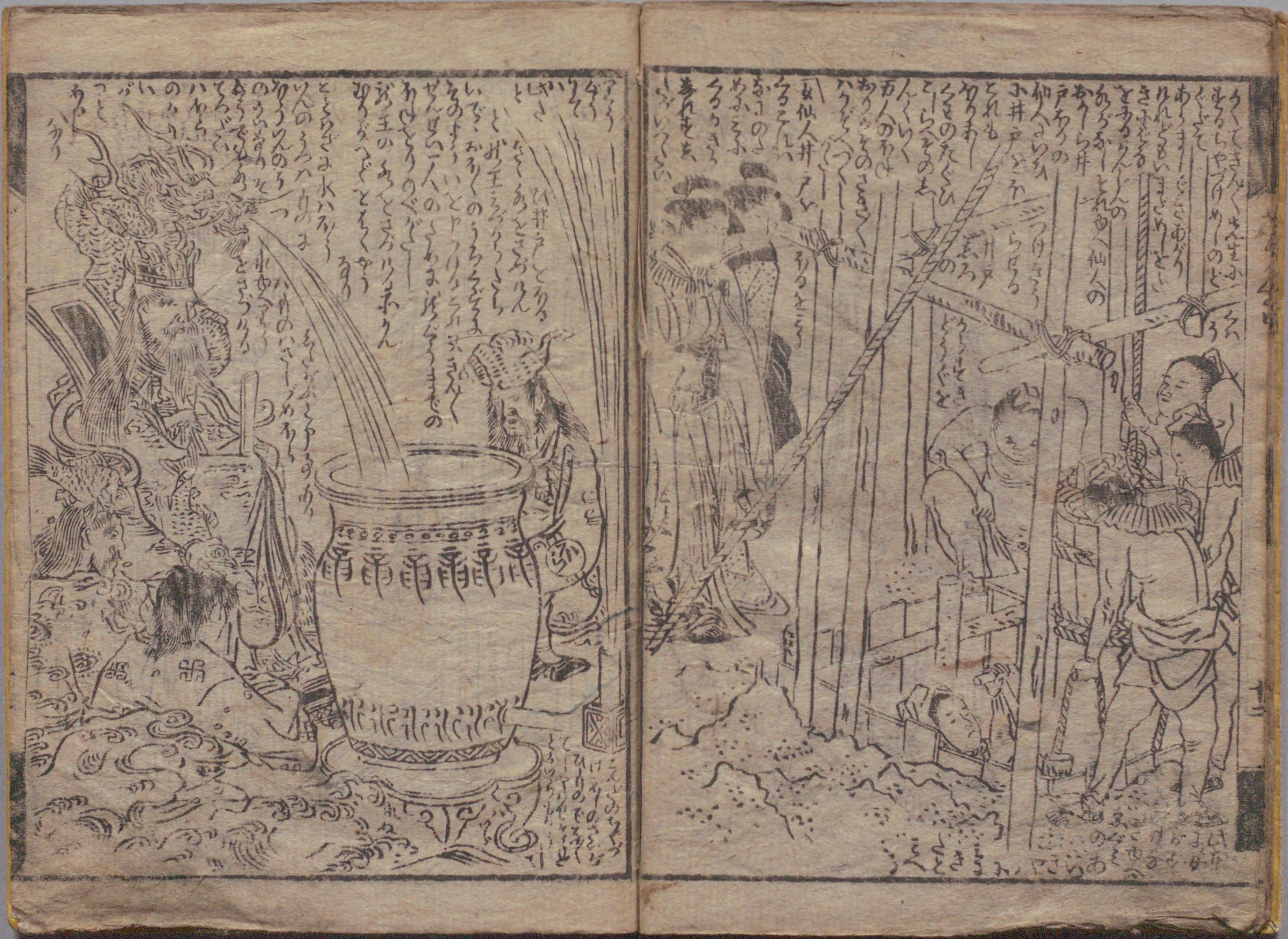
仙人のあやかし
仙人のあやかし
仙人のあやかし
仙人のあやかし
仙人のあやかし
仙人のあやかし
仙人のあやかし
仙人のあやかし
仙人のあやかし
仙人のあやかし











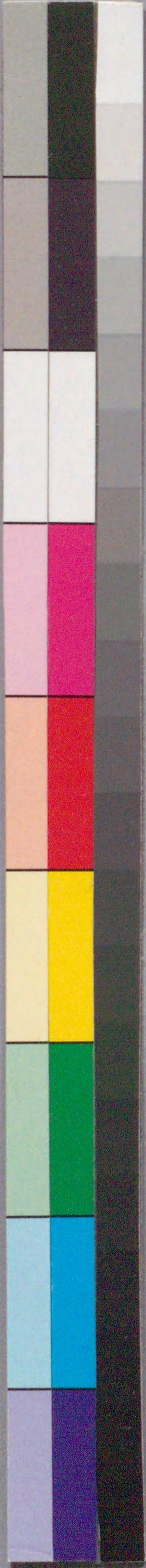




国立国会図書館 金銀先生造花夢：3巻 207-342

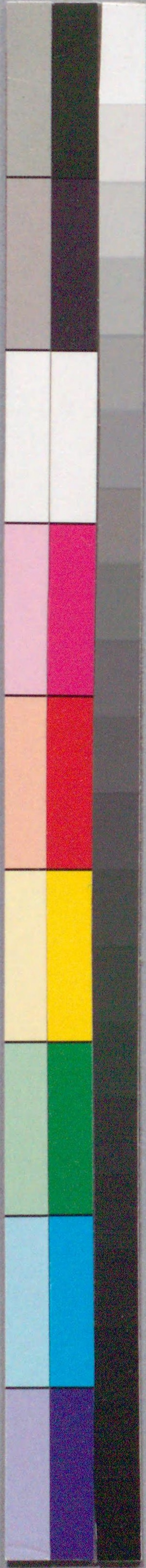
ガラス使用





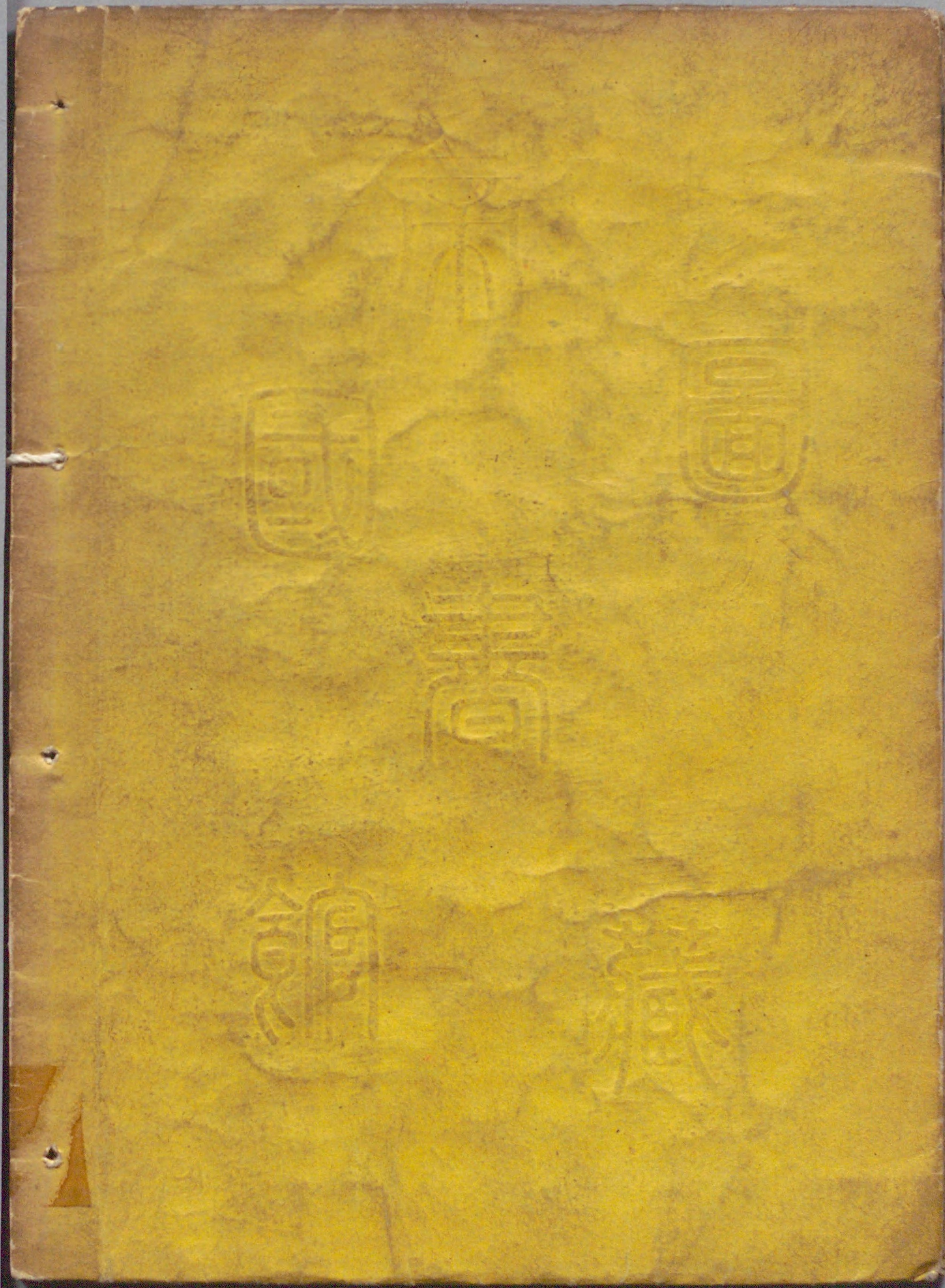
国立国会図書館 金銀先生造花夢：3巻 207-342

ガラス使用



国立国会図書館

金銀先生造花夢：3巻 207-342



ガラス使用

